

追加情報

- ・本書では、操作設定編に追加する情報を記載しています。本機に付属の取扱説明書 操作設定編とあわせてお読みください。
- ・お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
- ・本書では製品品番の一部（WV-）を省略している場合があります。
- ・本書は以下の機種を対象にしています。

WV-S3131LUX

・ソフトウェア Ver.4.80

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
1	[SNMPトラップ設定]に「お知らせ」を追加	ネットワーク -アドバンス	2ページ
2	録画ストリームの書き込み失敗時のシステムログを追加	メンテナンス -ステータス	3ページ
3	録画ストリームの書き込み失敗を独自アラームで通知する機能を追加	アラーム-通知	4ページ
4	録画ストリームのビットレートに推奨値を超えた値を設定したときの注記を追加	映像/音声-映像	5ページ
5	プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe) のダウンロード機能を追加	基本-基本	6ページ
6	メール通知先の認証パスワードを拡張	ネットワーク -アドバンス	7ページ

・ソフトウェア Ver.4.90

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
7	LLDP機能に対応	ネットワーク -アドバンス	8ページ

・ソフトウェア Ver.4.91

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
8	PCの日時をカメラに設定する機能を追加	基本-基本	10ページ
9	SDメモリーカードの「上書き」の初期値をOnに変更	基本-SDメモリーカード	11ページ
10	インターネットモードのOn/Offの補足説明を設定画面に追加	映像/音声-映像	12ページ
11	NTPテスト機能を追加	ネットワーク -アドバンス	13ページ
12	HTTPSにTLS設定を追加	ネットワーク -アドバンス	14ページ

・ソフトウェア Ver.5.01

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
13	SDメモリーカード画像取得機能を削除	基本-SDメモリーカード	16ページ
14	i-VMDアラームエリア情報設定を独自アラーム通知画面に追加	アラーム-通知	17ページ
15	映像配信ログをステータス画面に追加	メンテナンス-ステータス	18ページ

1. [SNMPトラップ設定] に「お知らせ」を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] –SNMPを設定する)

[SNMPトラップ設定] に「お知らせ」を追加しました。

お知らせ

- アラーム発生時のSNMPトラップ通知を動作させるためには、アラーム動作の設定が必要です。
アラーム動作に関する設定を行うには、取扱説明書の操作・設定編の「アラーム設定を行う [アラーム]」を参照してください。

2. 録画ストリームの書き込み失敗時のシステムログを追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス]
-ステータスを確認する [ステータス])

SD メモリーカードに関するログに録画ストリームのライト処理で異常が発生した場合のシステムログを追加しました。

分類	表示内容	内容詳細
SDメモリーカード	<SD>フォーマット	SD メモリーカードのフォーマットに成功しました。
	<SD>フォーマットエラー	SD メモリーカードのフォーマットでエラーが発生しました。
	<SD>ライトプロテクト	ライトプロテクトされた SD メモリーカードが挿入されました。
	<SD>認識エラー	SD メモリーカードを正しく認識できません。
	<SD>ライトエラー	SD メモリーカードのライト処理でエラーが発生しました。
	<SD>リードエラー	SD メモリーカードのリード処理でエラーが発生しました。
	<SD>削除エラー	SD メモリーカードの削除処理でエラーが発生しました。
	<SD>ファイルシステムエラー	SD メモリーカードのファイルシステムでエラーが発生しました。
	<SD>その他エラー	SD メモリーカードで上記以外のエラーが発生しました。
	<SD> SDメモリーカード録画の連続性に異常が起きています。SDメモリーカードへの録画ビットレート設定をご確認ください。	SD メモリーカードのライト処理でデータの欠落が発生しました。
<SD> SDメモリーカードに異常が起きています。SDメモリーカードの状態をご確認ください。	SD メモリーカードのライト処理でデータの欠落が発生し続けています。SDメモリーカードが正しく認識されているかをご確認ください。 認識されていない場合には、本機の電源を再起動するか、SDメモリーカードを一度抜いてから改めて挿入してご確認ください。	

3. 録画ストリームの書き込み失敗を独自アラームで通知する機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム])

–アラーム通知に関する設定を行う [通知] –独自アラーム通知について設定する)

「診断」の独自アラーム通知の発生条件に、録画ストリームのライト処理異常を追加しました。

独自アラーム通知

- [独自アラーム通知]

以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかを On/Off で設定します。

- アラーム発生時 (独自アラーム通知先「アラーム」欄)
- SD メモリーカード残容量通知時 (独自アラーム通知先「診断」欄)
- SD メモリーカードの空き容量不足時 (独自アラーム通知先「診断」欄)
- SD メモリーカードの認識エラー時 (独自アラーム通知先「診断」欄)
- SD メモリーカードの書き込みエラー時 (独自アラーム通知先「診断」欄)

初期設定 : Off

独自アラーム通知先

- [通知先 1] ~ [通知先 8]

独自アラーム通知先を IP アドレスまたはホスト名で設定します。通知先は 8 件まで設定できます。

「アラーム」欄 : チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。

「診断」欄 : チェックを入れると、SD メモリーカードの残容量通知、SD メモリーカードの空き容量不足、SD メモリーカード認識エラー、SD メモリーカード書き込みエラーを通知します。

「通知先アドレス」欄 : 通知先の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

入力可能文字 : 半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の [削除] ボタンをクリックします。

4. 録画ストリームのビットレートに推奨値を超えた値を設定したときの注記を追加

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声]

–ストリームに関する設定を行う [映像])

「1 クライアントあたりのビットレート *」の「お知らせ」に、推奨値を超えたビットレートを設定した場合、SD メモリーカード録画の連続性に異常が発生する可能性がある旨を追記しました。

[1 クライアントあたりのビットレート *]

お知らせ

- ストリームのビットレートは、ネットワークページの [ネットワーク] タブにある「配信量制御 (ビットレート)」に制限されます。そのため「*」付きの値を設定した場合は、映像が配信されない場合があります。
- ストリームのビットレートは、6144kbps 以下の設定をおすすめします。6144kbps より大きい値を設定した場合は、録画映像の連続性に異常が発生する可能性があります。
- リフレッシュ間隔が短い場合、被写体によっては設定したビットレートを超過することがあります。
- 同時接続するユーザー数、または、使用する機能の組み合わせによっては、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。設定後に、配信映像をご確認ください。

5. プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe) のダウンロード機能を追加 (取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] – 基本設定を行う [基本])

プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe) のダウンロード機能を追加しました。

[プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)] – [ダウンロード]

[実行] ボタンをクリックして、インストーラー付きプラグインソフトウェアをPCにダウンロードすることができます。ダウンロードしたファイルを実行し、画面の指示に従ってインストールしてください。

6. メール通知先の認証パスワードを拡張

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] - メール送信について設定する)

メール通知先の認証用パスワードについて入力可能文字数を 128 文字に拡張しました。

- **【認証-パスワード】**

サーバーにアクセスするパスワードを入力します。

入力可能文字数：0～128文字

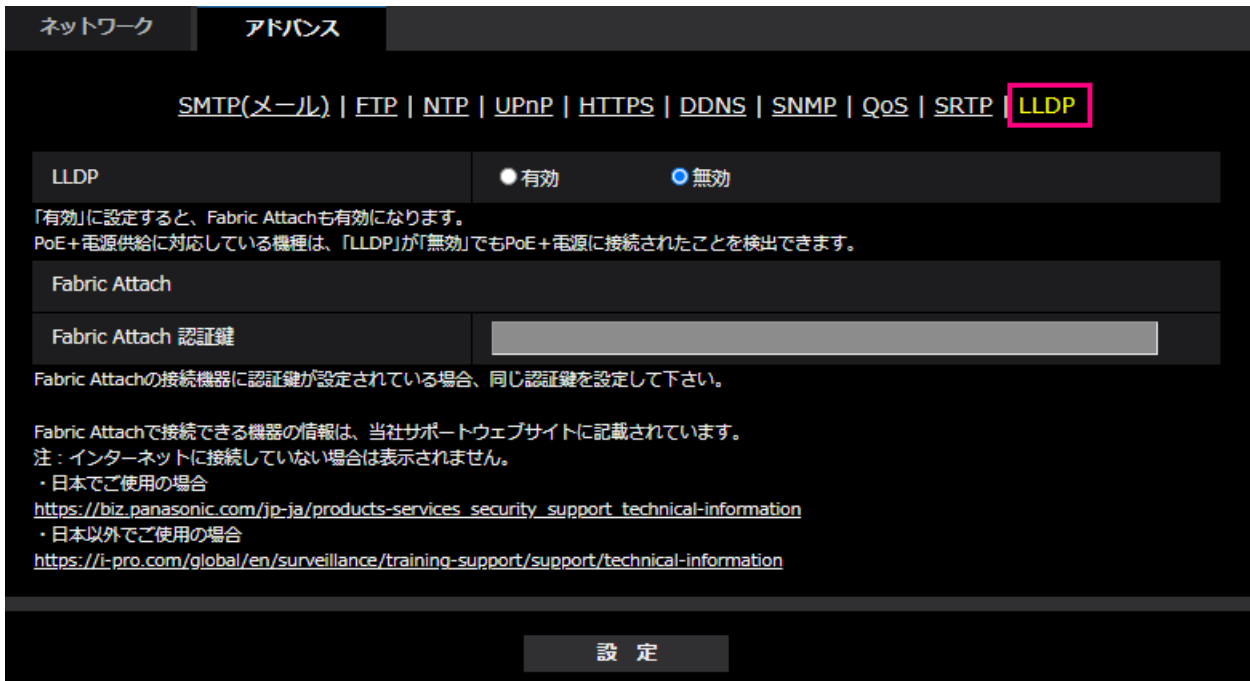
入力不可文字：全角、半角記号「"」 「&」

7. LLDP 機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク])

–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス])

LLDP (Link Layer Discovery Protocol) を [ネットワーク] の [アドバンス] に追加しました。カメラのデバイス情報を LLDP 対応機器と送受信することで、相互運用を実現することができます。



[LLDP]

LLDP 機能および Fabric Attach を有効にするかどうかを有効/無効で設定します。

初期設定：無効

「有効」に設定すると、以下の表のチェックが付いている TLV を含む LLDP を送信します。

End Of LLDPDU TLV	Chassis ID TLV	Port ID TLV	Time To Live TLV	Port Description TLV	System Name TLV	System Description TLV	System Capability TLV	Management Address TLV	IEEE802.3 Power via MDI TLV	Fabric Attach Element TLV
✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

※PoE+電源供給に対応している機種は、「無効」に設定していても PoE+電源供給のために、以下の表のチェックが付いている TLV を含む LLDP を送信します。

End Of LLDPDU TLV	Chassis ID TLV	Port ID TLV	Time To Live TLV	Port Description TLV	System Name TLV	System Description TLV	System Capability TLV	Management Address TLV	IEEE802.3 Power via MDI TLV	Fabric Attach Element TLV
✓	✓	✓	✓						✓	

Fabric Attach

[Fabric Attach 認証鍵]

Fabric Attach 認証に使用する鍵を入力します。なお、「LLDP」が「有効」の時のみ有効です。

入力可能文字：0~32 文字（Fabric Attach 認証を行わない場合、空白にしてください。）

入力可能文字：半角英数字

初期設定：なし（空白）

お知らせ

- ・[設定]ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約 2 分間操作できません。
- ・Fabric Attach で接続できる機器の情報は、当社サポートウェブサイトに記載されています。
https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_technical-information

8. PCの日時をカメラに設定する機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] – 基本設定を行う [基本])

日時設定において、PCの日時をカメラに設定する機能を追加しました。



基本	SDメモリーカード	ログ	オーバーレイ画像
メニュー言語	自動		
カメラタイトル	CAMERA 101		
日時	Dec / 13 / 2021 14 : 05 : 38		
<input checked="" type="checkbox"/> PC時刻をカメラに設定する			

[日時]

現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。

「PC時刻をカメラに設定する」にチェックを入れて [設定] ボタンをクリックすると、PCの日付と時刻を取得して本機に設定します。

設定可能範囲 : Jan/01/2013 00:00:00 ~Dec/31/2035 23:59:59

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。
(→NTPサーバーを設定する)

9. SD メモリーカードの「上書き」の初期値を On に変更

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] - SD メモリーカードを設定する [SD メモリーカード])

[上書き]

SD メモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。

- On: SD メモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- Off: SD メモリーカードの空き容量がなくなった場合、SD メモリーカードへの保存を停止します。

初期設定 : On

10. インターネットモードの On/Off の補足説明を設定画面に追加

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [映像/音声] –ストリームに関する設定を行う [映像])

インターネットモード設定の On/Off の補足説明を追記しました。

ストリーム(1)	
ストリーム配信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
圧縮方式	<input checked="" type="radio"/> H.265 <input type="radio"/> H.264
インターネットモード	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off ※「On」に設定すると、HTTPポートを使用してストリームを配信します。 「Off」に設定すると、UDPポートを使用してストリームを配信します。
解像度	1920x1080 ▼

[インターネットモード]

H.265（または H.264）画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定を JPEG 画像配信時と同じ設定のままでストリームを配信することができます。

- **On** : HTTP ポートを使用して H.265（または H.264）画像、音声を配信します。HTTP ポート番号の設定については「ネットワークを設定する[ネットワーク]」の「IPv6/v4 共通」をお読みください。
- **Off** : UDP ポートを使用して H.265（または H.264）画像、音声を配信します。

初期設定 : On

お知らせ

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト(ポート番号設定:オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、ストリームの画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、ストリームの画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4 アクセスのみに制限されます。

11. NTP テスト機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] –NTP サーバーを設定する)

NTP サーバーと通信できるかを確認する為、時刻同期のテスト機能を追加しました。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP LLDP			
NTP			
時刻調整	<input type="radio"/> マニュアルセッティング <input checked="" type="radio"/> NTPサーバーに同期		
NTPサーバーアドレス取得方法	Manual ▼		
NTPサーバーアドレス	入力例: 192.168.0.10		
ポート番号	123 (1-65535)		
時刻更新間隔	1h ▼		
NTPテスト	実行		
設定			

[NTP テスト]

「時刻調整」を「NTP サーバーに同期」を選択し、NTP サーバー情報を設定後に「実行」ボタンをクリックしてください。NTP サーバーと通信し、時刻同期を実施し、NTP 動作の確認をすることができます。

お知らせ

- ・NTP テストに成功すると、「NTP 時刻補正に成功しました。」を表示します。
- ・NTP テストに失敗すると、「NTP 時刻補正に失敗しました。」を表示します。
- ・「時刻調整」が「マニュアルセッティング」に設定している場合は、NTP テストの「実行」ボタンはグレー表示されます。
- ・「時刻調整」が、「NTP サーバーに同期」に設定されている場合で、NTP サーバーアドレスが設定されていない場合には、NTP テストの「実行」ボタンはグレーアウト表示されます。

12. HTTPS に TLS 設定を追加

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
–ネットワークの詳細設定を行う [アドバンス] –HTTPSを設定する)

HTTPS の接続方法に TLS1.1, TLS1.2, TLS1.3 の選択項目を追加しました。

ネットワーク		アドバンス	
SMTP(メール) FTP NTP UPnP HTTPS DDNS SNMP QoS SRTP LLDP			
HTTPS			
接続方法	HTTP	接続方法を「HTTPS」に設定すると、最大配信量が16Mbpsに制限されます。	
	<input type="checkbox"/> TLS1.1	<input checked="" type="checkbox"/> TLS1.2	<input checked="" type="checkbox"/> TLS1.3
証明書の選択	プリインストール		
HTTPSポート番号	443	(1-65535)	
プリインストール証明書			
ルート証明書取得	実行		
CA証明書			
CRT鍵生成	実行		
署名リクエスト(CSR)生成	実行		
CA証明書インストール		参照...	実行
情報	無効	確認	削除
設定			

【HTTPS-接続方法】

本機への接続方法を設定します。

HTTP : HTTP と HTTPS 接続が可能になります。

HTTPS : HTTPS 接続のみ可能になります。

初期設定 : HTTP

HTTPS を選択した場合に使用する TLS を選択します。

•**TLS1.1** : 有効/無効を設定します。

•**TLS1.2、TLS1.3** : 常に有効で、無効に設定することはできません。

初期設定 : **TLS1.1** : 無効、**TLS1.2** : 有効、**TLS1.3** : 有効

お知らせ

- HTTP選択時に、HTTPS接続するには、最初にHTTPS接続設定を行ってください。その後、HTTPに設定変更した場合でも、HTTPS接続が可能となります。

13. SDメモリーカード画像取得機能を削除

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本])

-SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード])

Microsoft 社は Web ブラウザー「Internet Explorer」のサポートを 2022 年 6 月 15 日に終了しました。弊社のカメラについても「Internet Explorer」の対応を終了し、「Internet Explorer」のみ対応している「SDメモリーカード画像取得」機能を削除しました。

基本	SDメモリーカード	ログ	オーバーレイ画像
運用モード			
SDメモリーカード	<input type="radio"/> 使用する	<input type="radio"/> 使用しない	
録音	<input type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
SDメモリーカード残容量通知	50% ▼		
上書き	<input type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
撮像モードが60fpsモードの場合は使用できません。			
SDメモリーカードセキュリティ設定			
改ざん検出情報付加	詳細設定へ>>		
パスワードロック	パスワード	設定	解除
	状態	未設定	
録画ストリーム 1			
録画圧縮方式	JPEG(2) ▼ (640x360)		
	FTP定期送信エラー時 ▼		
保存モード	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 2	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 3
	<input checked="" type="checkbox"/> 動作検知	<input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム	<input checked="" type="checkbox"/> 音検知
録画ストリーム 2			
録画圧縮方式	Off ▼		
	アラーム発生時 ▼		
保存モード	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 1	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 2	<input checked="" type="checkbox"/> 端子 3
	<input checked="" type="checkbox"/> 動作検知	<input checked="" type="checkbox"/> コマンドアラーム	<input checked="" type="checkbox"/> 音検知
SDメモリーカード情報			
容量表示	-----MB/-----MB (残容量/総容量)		
フォーマット	実行		
SDメモリーカード画像取得	実行		
画像取得	実行		
設定			

14. i-VMD アラームエリア情報設定を独自アラーム通知画面に追加

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] - アラーム通知に関する設定を行う [通知] - 独自アラーム通知について設定する)

i-VMD アラームエリア情報を独自アラーム通知画面に追加しました。

アラーム	i-VMD	音検知	通知
独自アラーム通知 HTTPアラーム通知			
独自アラーム通知	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
アラーム拡張情報付加	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off	
i-VMDアラームエリア情報	<input type="radio"/> On	<input checked="" type="radio"/> Off	
通知先ポート番号	<input type="text" value="1818"/>	(1-65535)	
リトライ回数	<input type="text" value="2"/>		

・ [i-VMDアラームエリア情報]

i-VMDで検出したエリア番号を独自アラームで通知するかどうかをOn/Offで設定します。

初期設定 : On

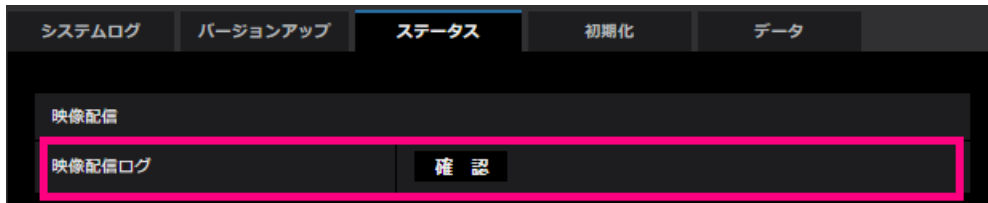
お知らせ

- ・ 拡張機能ソフトウェアi-VMDをインストールしている場合に、この設定が表示されます。
- ・ アラーム設定でi-VMDに設定されている場合に、この設定が表示されます。

15. 映像配信ログをステータス画面に追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] –ステータスを確認する [ステータス])

映像配信ログをステータス画面に追加しました。



「確認」ボタンをクリックすると、別のウィンドウに映像配信ログが表示されます。

[SDメモリーカード] タブで「SDメモリーカード」を「使用する」に設定 (→SDメモリーカードを設定する [SDメモリーカード]) し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大 4000 件の映像配信ログを保存できます。

SDメモリーカードが挿入されていない、または、「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大 200 件まで映像配信ログを保存できます。

保存できる映像配信ログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

映像配信ログは 100 件ずつ表示され、カメラの電源を切ってもログは保持されます。

No.	時刻	ストリーム種別	接続ユーザー	IPアドレス	イベント
1	Jul/22/2022 02:33:16	JPEG(2)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
2	Jul/22/2022 02:33:05	JPEG(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
3	Jul/04/2022 17:28:02	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	停止要求を受け付けました
4	Jul/04/2022 17:27:20	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました
5	Jul/04/2022 17:26:48	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	停止要求を受け付けました
6	Jul/04/2022 17:26:45	ストリーム(1)	admin	192.168.0.6	開始要求を受け付けました

- [<<最新の100件]
クリックすると、最新100件の映像配信ログ一覧が表示されます。
- [次の100件 >>]
クリックすると、表示している映像配信ログ一覧の次の100件を表示されます。
- [ページ数表示]
現在開いているページが「ページ/総ページ」の形式で表示されます。
- [<<前の100件]
クリックすると、表示している映像配信ログ一覧の前の100件を表示されます。
- [No]
映像配信ログの通し番号が表示されます。
- [時刻]
映像配信ログの時刻が表示されます。
- [ストリーム種別]
映像配信ログのストリーム種別 (ストリーム(*), JPEG(*), SDカード再生) を表示します。
*は番号を表示します。

- [接続ユーザー]
映像を配信したユーザー名を表示します。

お知らせ

- 「ユーザー認証」が「Off」の場合は、「-」と表示されます。
- [IPアドレス]
映像を配信したIPアドレスを表示します。
- [イベント]
映像配信の開始要求、停止要求や開始エラー（アクセス集中）を表示します。

お知らせ

- 以下の場合には、停止要求のログが残らないことがあります。
 - 撮像モード・ストリーム・解像度などストリームに関する設定を変更した場合
 - ライブ画より設定画面に移動した場合
 - ライブ画を閉じた場合
 - ネットワークが切断された場合